

阿蘇地域大規模草地改良事業



＜広大な牧野を基盤として、畜産王国阿蘇は、大規模草地改良により新しい飛躍を試みようとしている。写真は小国町営牧場での採草風景＞

阿蘇は四万五千ヘクタールに及ぶ広大な草原を有しその広さは全国でも屈指。阿蘇地域開発の可能性は、これら未利用資源の普及利用により開発地域の中でも最も明るい期待に満ちている。そして阿蘇大規模草地改良事業は新しい阿蘇畜産の地図を描きはじめている。

阿蘇草地の素顔

阿蘇一帯の四万五千ヘクタールに及ぶ広大な草原は、畜産にとっては恵まれた草資源で、その広さは、北海道と並んで全国屈指となっている。地形的には、阿蘇山を中心として、北外輪山は、高原や山麓が広く集団し、草地改良の適地が多く、また九州横断道路をはじめとして交通網も整備され、開発の条件としては恵まれている。

一方南外輪山麓及び山東部一帯は地形が複雑で規模小さく、急しゅんなどところも多く開発がおくれている。今までの阿蘇の原野利用と牛馬の飼

方は、毎年八十八夜をさかいとして、放牧が開始され、秋風が身にしみる十月ともなれば、刈り干し切りが一齐にはじまり、十一月ともなれば放牧の牛馬も山から下ろされて舎飼となっていた。

この繰り返しが牧野利用の実態で阿蘇の畜産の姿であった。このようにして、広大な牧野を基盤として全域に肥後のあか牛約三万頭が飼育され、県下の二七％が阿蘇地帯に生まれている。最近では肉資源の不足にともない、県内はもちろん関東、関西に移出され、肉用牛の最大の供給地となり脚光をあびている。

牧野の開発については、多額の資本投下と装備をとない未知の技術でササ

カヤなどの原野に牧草を植え、乳牛肉牛を飼い牛乳や肉牛を生産することは容易なことではないが、阿蘇農民の大きな期待と開発の希望がかけられている。このような阿蘇の原野に対して県では昭和二十七年に牧野試験地を設置し、以来県営放牧利用模範施設などを実施し、実際に即した技術の指導に当り、毎年補助事業による大規模、小規模の草地改良事業を実施し、現在までに二千餘の草地が改良され、牧草地にはまめ科のクローバや、イネ科の牧草が、年中繁茂するようになった。

阿蘇地域は、昭和三十年に阿蘇山麓集約酪農地域として国の指定をうけ、酪農へのさきかけとして昭和三十三年に小国町南小国村が草地利用に最も適した、ジャージー乳牛千二百頭を濠州から導入し、草地利用による集団酪農経営にふみきり、その後三十六年に肉牛アーデンアンガス牛などが輸入され一段と草地の利用は活発となり草つくりの技術も高度に生長してきた。昭和三十九年度には、その実績が認められて、全国農業祭において天皇杯を獲得して、名実ともに草地農業の先駆的役割をはたし、今後における草地改良の指針となった。

また、昭和三十八年には農林省熊本種畜牧場、阿蘇支場が赤水に設置され草利用によって肉牛の造成試験、草地の改良が開始され、技術的な援助が得られるようになり草地経営も軌道に乗るようにな

町村別牧野面積と要改良可能推定面積

町村名	牧野面積 ヘクタール	要改良可能面積 ヘクタール	40年度未改良面積 ヘクタール
宮町	5,444	3,811	168
阿蘇郡小国町	8,807	5,783	468
阿蘇郡小国町	5,314	2,556	270
阿蘇郡小国町	5,436	1,100	454
阿蘇郡小国町	2,460	1,799	89
阿蘇郡小国町	2,722	1,005	72
阿蘇郡小国町	6,295	1,060	48
阿蘇郡小国町	2,824	356	36
阿蘇郡小国町	1,053	239	36
阿蘇郡小国町	1,311	147	63
阿蘇郡小国町	894	455	30
阿蘇郡小国町	3,338	240	65
合計	45,898	18,651	1,799

注) 改良可能面積は機械改良を前提とし、一団地10ヘクタール以上を見込む。

大家畜飼養頭数調べ

区分	乳用牛	和牛	馬	合計(単位)	摘要
阿蘇郡	1,933	20,285	2,763	24,981	ジャージー種1,444含む
熊本県	27,651	77,413	8,526	113,591	
熊本県	7%	27%	32%	22%	

つてきたが、一方阿蘇南部地帯においても、蘇陽町大見口に全国三カ所の乾草生産施設が設置され、栄養の高い牧草の乾草が生産され、平坦地の酪農地帯に供給されるようになり、近代的な畜産の方向が打ち出されつつある。

計画のあらまし

従来までの草地改良規模を大きくして団地百餘の面積を単位として、施設を完備し、大型機械化による近代的牧場経営を行なうもので、これには多額の資金を必要とするので基本施設は国の直轄工事とし付帯事業を県、町村によって施行することになっています。

今回は、阿蘇町、一の宮町及び産山村に広がる約一万五千七百餘の原野のうち千七百餘の改良を行ない、これに関連した四八結の道路の新設などの事業を実施

△のどかな阿蘇高原……あか牛の放牧は平和な季節の風物詩でもある。▽

